

「5S」を身に着けよう

—「整理」・「清掃」・「整頓」・「清潔」・「躰」の「5S」は人生の宝物—

開倫塾
塾長 林 明夫

Q : 「5S」とは何ですか。

A : (林明夫：以下省略) 「5S」とは

(1) 「整理」(seiri)、^{せいり}「清掃」(seisou)、^{せいそう}「整頓」(seiton)、^{せいとん}「清潔」(seiketu)、^{せいけつ}「躰」(shituke)の5つのことです。

(2) ローマ字で表記すると、すべてSで始まるので「5つのS」、「5S(ごえす)」といいます。

Q : 一つ一つの「S」の意味は何ですか。

A : (1) 「整理(seiri)」とは「不要なものを捨てよう」ということです。

(2) 「清掃(seisou)」とは「常にきれいにしよう」ということです。

(3) 「整頓(seiton)」とは「すぐに取り出せるようにしよう」ということです。

(4) 「清潔(seiketu)」とは「整理、清掃、整頓の3Sを維持しよう」ということです。

(5) 「躰(shituke)」とは「決められたことをきちんと守ることを心掛けよう」、「自分から進んで自主的に整理、清掃、整頓、清潔を行おう」ということです。



Q : 塾長はなぜ「開倫塾の塾生は5Sを身に着けよう」とおっしゃるのですか。

A : (1) 「5S」はもともと改善活動からスタートしたものとされています。5Sは企業の成長だけでなく、地域の発展や人づくりにも役立つと考えられるようになりました。そこで、日本国内の多くの企業や地域で「5S」の活動がさかんに行われています。最近ではアジアや欧米だけでなくアフリカを含む世界中で「5S」の活動が行われ、企業や地域の発展に役に立っています。

(2) この「整理」「清掃」「整頓」「清潔」「躰」の「5S」の活動は、仕事や社会的活動をするときだけでなく、学校や家庭での生活にも役に立つと私は考えます。

(3) 開倫塾の塾生の皆様、特に受験生の皆様は、受験当日が近づけば近づくほどやるべきことが多くなりますので、この「5S」が役に立ちます。そこで、「受験生こそ5Sを身に着けよう」と強く訴えたいと思います。

(4) 開倫塾では、学校時代から「5S」に親しんでもらいたい、特に多忙を極める受験生は「5S」

を活用して受験生活を進めてもらいたいと願い、2013年10月よりすべての校舎で「開倫 5S 学校」をスタートしました。受験生はもとより、塾生の皆様は開倫塾に在籍している間に少しでも「5S」を身に着け、充実した学校生活、受験生活を送ってください。

(5)一度身に着けた「5S」は高校や大学、専門学校、専修学校、大学院に進学してからも、また、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役に立ちます。豊かで充実した人生を送る上で必ず役に立ちます。一生役に立つのが自分から進んで行う 5S です。ですから、開倫塾の「開倫 5S 学校」でしっかりと「5S」を身に着けていただきたいと希望します。

Q：具体的には何をどうすればよいのですか。一つ一つ例を挙げて「5S」の内容を説明してください。

A：「整理」とは、不要なものを捨てようということです。

(1)1日に1回、カバンやバッグ、筆入れの中の要らなくなったものを捨てる。ここから「整理」をスタートしましょう。

(2)1か月に1回、学校の机の中やロッカーの中からも不要なものを捨てましょう。

(3)家の自分用の机の上や机の中、本棚などにある不要なものも捨てましょう。

(4)家の自分用の物入れの中にある不要なものも捨てましょう。

(5)自分が使っている部屋の中にある自分の持ち物の中の不要なものも捨てましょう。

*ゴミなどは自分の判断でどんどん捨てて OK ですが、捨ててよいものかどうかは、学校の先生や保護者の方とよく相談してくださいね。



Q：捨てるものは結構あるのですね。不要なものを捨てたあとはどうしたらよいのですか。

A：(1)よい質問ですね。「整理」のあとに行うのが「清掃」、つまり常にきれいにしましょう。

(2)カバンやバッグ、筆入れ、机、本棚、ロッカー、物入れの中を「整理」して不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を必ず行いましょう。

(3)「整理」で不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を行うことが大切です。心の中まできれいになります。

Q：「整理」し、「清掃」したあとはどうしたらよいのですか。

A：(1)これもよい質問ですね。「整頓」してすぐに取り出せるようにしよう、これが答えです。

(2)カバンの中やバッグの中、筆入れの中、机の上、机の中、本棚の中、ロッカーの中、自分の物入れの中のもの、すぐにパツ、パツと取り出せるようにしましょう。一つ一つのものをどこにどのように置くか、位置をよく考える。ものは同じところに置くことが大切です。

(3)使ったものは必ず元の位置に戻すことも「整頓」に入ります。

(4)鉛筆やボールペンなどは必ず使い切ってくださいね。使い切る前に1本だけ補充することも大切です。

(5)この「整頓」が身に着いてくると、ものを探す時間が極端に少なくなりますから、勉強や、そのときにやるべきことに集中できます。余計なものを買わなくなりますから、節約ができ、お金もたまりますよ。



Q：4つ目の「清潔」とは何ですか。

A：(1)「整理」「清掃」「整頓」の「3S」を維持しようということです。

(2)大切なのは「3S」をやり通す、絶対に中止しない、止めないことです。「継続は力」です。「3S」をやり通せば勉強や仕事の効率がどんどん上がり、成績もどんどん向上します。

(3)カバンの中や机の上、机の中、部屋の中がスカッとして、気持ちよく過ごせます。これが「清潔」です。

Q：5つ目の「躰」とは何ですか。

A：(1)「躰」とは、決められたことをきちんと守ることを心掛けようということです。みんなで決めたことはみんなで守ること、ルールの中でプレイをすること、卑(いや)しい行動はしないことが大切です。

(2)一番大切なのは、自分から進んで自主的に「5S」に取り組もうということです。いやいや、無理矢理では「5S」は長続きしません。自分の意志で、自分のために、また、みんなのために「5S」を行いましょう。

Q：最後に一言どうぞ。

A：開倫塾の創業の地で本部のある栃木県足利市では、働く人の自主性を尊重した5S運動がさかんです。足利商工会議所の中に「足利5S学校」があり、企業の成長と地域の活性化は人づくりからという観点で、企業はもとより、市役所や学校、福祉施設などでも5S運動を進めています。開倫塾は「足利5S学校」の趣旨に賛同し、2013年10月に「開倫5S学校」を発足、少しずつですが活動を行っております。本年の11月10日(木)・11日(金)に足利市で第3回世界5Sサミットが開催されますので、開倫塾も参加の予定です。どうかよろしく願いいたします。

開倫塾ニュース2014年12月号巻頭言を加筆・修正したものです。2016年3月31日林明夫記

筆者紹介

- ・開倫塾 塾長
- ・公益社団法人経済同友会 幹事(東京)
- ・公益社団法人栃木県経済同友会 幹事
- ・学校法人有朋学園有朋高等学院 理事長(福島市)
- ・宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- ・マニー株式会社(手術用縫合針製造、東証一部)顧問、社外取締役(2004～2010年)